

「生しぼり絹豆腐」で スイーツもできちゃった

4月26日 浪速西・浪速東パル委員会

15名参加(内こども2名)



「子ども何でもやりたい年頃だし、友だちもできるかなと思って参加しました。よく買う『生しぼり絹豆腐』は、ホットケーキに入れたりはしていたけど、スイーツもできて楽しかったです」
写真左・山本奈那ちゃん(1歳7カ月)と知佳さん
「子ども連れもOKというのは嬉しいですね。『生しぼり絹豆腐』は、自動注文で届くので家でも試したいです」
写真右・石田未優ちゃん(2歳2カ月)と歩さん

「生しぼり絹豆腐」を使って!



ヘルシー
みたらし団子
の作り方

- ①白玉粉200gをボウルに出し、タマをつぶしておく。②「生しぼり絹豆腐」一丁を加えて混ぜる。③耳たぶくらいの柔らかさになったら、ひと口大に丸める。④沸騰した湯に団子を入れ、浮き上がったきたら冷水に取ってから水気を切る。⑤みたらしのタレを作っておける(しょうゆ30cc、砂糖80g、みりん・片栗粉大さじ1、水100ccを小鍋で炊く)。



生しぼり絹豆腐 [冷蔵]
300g×2 主原料: 遺伝子組換えでない
毎週企画 通常価格 168円
賞味期間: 15日

「わら焼き戻りかつおタキ」や、バル委員さんおすすめ一品、野菜料理の提案も好評でした。



組員活動の コーナー

組員活動は「食」「平和」「環境」への4つの柱にそって各地域で多彩な取り組みが行われています。その様子を紹介していきます。

「小さな子ども連れの組員さんでも、参加しやすいものにはどうしたら?」とスイーツクッキングを計画。今回は、「生しぼり絹豆腐」を使ったヘルシーみたらし団子など、簡単にできる和風メニューを、おとなも笑顔がこぼれていました。その他にも、同じコラボ商品の

～ 岩手 被災地ボランティア 活動 ～

【第8陣】7月9日～15日 支所職員など14名



住民の方が「ごめんね、ありがとう」と言ってくれます。支援を受けるばかりで恐縮されている様子が、私のほっとも心苦しく思っていました。「お茶の子」みなさんが楽しくおしゃべりを、笑っている姿を見て、私の心も少し軽くなりました。(人事総務部の前田さん)

6月に肌着をお届けした時はサイズがあわなかったのですが、今回の方にあうサイズをお届けすることができました(写真左:前田さん)



動担任の西川さん

重機で集められるように、斜面の下にガレキを一ひと投げ出して積み上げました。区長さんや何とかしたいがどうしていいかわからず困っておられました。一日やらずに少し片付きます。あとのくらの年月がかかるのでしょ、誰かがやらねばならないのですが、(生野個配センター・営業活動担任の西川さん)

大西さん(福祉事業部)、下脇さん(店舗部)、奥中さん(西成支所・住之江区配送担当)、森さん(寝屋川支所・枚方配送担当)、福留さん(鶴見支所・生野区担当)、小山さん(北枚方支所・枚方配送担当)、内藤さん(都島支所・旭区配送担当)、前田さん、安田さん、中岡さん、梅本さん、金橋さん、高井さん、西川さん

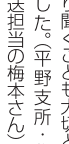


大槌町の仮設住宅の方へ食器セットを(写真左:梅本さん、うしろ:高井さん)



門真市配送担任の安田さん

台所セットは、とても好評で、さくさく中のコップやマグでお茶をこらそうして下さったり、「全国の方から助けてもらって」と手を合わせて下さったり、この喜ばれている様子を、バルコプの組合員さんにお伝えしたいと思いましたが、(南寝屋川支所・門真市配送担任の安田さん)



送担任の梅本さん

食器セットのお届けでは、はじめ戸惑っておられた被災者の方も、セットを開けて組合員さんのお手紙を見ると顔がほころんでお話できるようになりました。お渡しするだけではなくお話をしっかりと聞くことも大切と思われました。(平野支所・住吉区配送担任の梅本さん)



総務部の中岡さん

仮設の女性たちがぼつぼつ集まってきたお茶しながら手作りして、まけないぞう(※)を作り、心の癒しにされていました。ボランティアが被災者に、〇してあげることではなく、一緒に楽しむこと共有することが大切と思えました。(人事総務部の中岡さん)



活動担任の金橋さん

小さなお子さんの居るところでは、幼稚園に行きたいけど近くに友だちもおらず、遊び場も遠くにしかないのストレスがあり、心のケアが大事と思われました。(港支所・営業活動担任の金橋さん)

ひきつづき募金にご協力をお願いします

東日本大震災救援募金

日本生協連で集約し各県の生協連会から行政を通じ、被災者のみなさまへ届きます
【共同購入・個配】では、提出用注文書6桁欄にて注文番号「001417」で受付けます。個数(100円単位)を記入をお願いします。
【店舗・組合員会館】では、募金箱を設置しています。
【郵便振替】では、(口座番号)00900-2-14876 (加入者名)生活協同組合おおさかパルコプ ※通信欄に、必ず「東日本大震災救援募金」と明記ください。手数料は各自ご負担をお願いします。

(遠野)まごころネット募金

遠野まごころネットから商品をお届けしたり、支援隊が沿岸被災地へ移動するガソリン代などの運営資金になります
【共同購入・個配】では、提出用注文書「カンパ欄」1416番で受け付けます。個数(100円単位)を記入をお願いします。
【店舗・組合員会館】では、募金箱を設置します。
【郵便振替】では、(口座番号)00900-2-14876 (加入者名)生活協同組合おおさかパルコプ ※通信欄に、必ず「遠野まごころネット募金」と明記ください。手数料は各自ご負担をお願いします。

大阪から送った台所用品が岩手のお宅へ 「何より気持ちがいい」

岩手県沿岸被災地へのボランティア拠点である「遠野まごころネット」にバルコプとして登録し、5月21日より毎週、職員6名、14名がボランティアに行き様々な活動が行われています。
今回は第8陣の活動の紹介です。仮設住宅に入居された方に、時機を逃さず「台所用品セット」をお届けすることを中心に奮闘しています。

東日本大震災被災地への一般ボランティア募集

この度、大阪府と大阪府生協連の協同の取り組みとして、東日本大震災ボランティアバスの運行を行うことになりました。つきましてはバルコプでも、以下の要領で参加者を募集します。

- 参加対象
・バルコプの組員またはその家族(18歳以上)
・事前のボランティア説明会に参加できる方
8月20日(土)13:30～15:30 大阪社会福祉指導センター5階(大阪市中央区)

下記の申し込み先に、8月15日までに連絡ください(連絡必須です)

- 日程
各回とも初日18:30集合・帰着9:00の3泊4日(車中2泊)、現地活動日は2日間、移動はバスです。
① 8月27日～30日 ② 9月3日～6日
③ 10月1日～4日 ④ 10月27日～30日
- 行き先
岩手県内の被災地
(現地ボランティアセンターでの調整)
- 募集人数
各回35人
- 参加費
1700円(昼弁当2日分・ボランティア保険)と、朝食夕食・入浴料が自費。

【問い合わせ・申し込み】
説明会参加締め切り: 8月15日(月)
おおさかパルコプ理事会まで
☎ 06-6242-0904(月～土)